

まどか 通信



社会福祉法人 まどか

〒720 - 0032 福山市三吉町南一丁目 7 番 9 号

☎ 084 - 928 - 1643 (Fax 兼用)

E-Mail : madoca1643@nifty.com

<http://madoca1643.style.coocan.jp/> (Homepage)

<http://www.facebook.com/madoca1643/> (Facebook)

令和 4 年 8 月 1 日

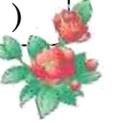
第 6 8 号

発行責任者：神谷 和孝

発行：社会福祉法人 まどか

編集責任者：高橋 恒二郎

(2月・5月・8月・11月 発行)



～ コロナ禍、ウクライナ戦争、安倍元総理

一人ひとりの課題を考えよう ～

理事長 神谷 和孝

私は大相撲が大好きだ。戦後の名横綱 若乃花、栃錦の取り組みを見て相撲が大好きになった。

しかし、今場所（名古屋場所）では、力士約 620 人のうち約 170 人が休場した。十両以上は戦後最多の 23 人と、しまりのない場所となった。楽しみにしていた大相撲を不意にしたコロナ菌に対して持っていきようのない憤りを感じた。

今、コロナ菌のせん滅は全世界的規模で考えないといけない状況にある。

一時、コロナ感染者の数が減り、政府のコロナ菌感染拡大の防備のための規制も緩和され、諸行事の会場の入場者制限もとかれ、夜の巷をぶらぶらする人も増えてきて、国全体に安堵感がただよった矢先、新型コロナが急激に、福山市でも 500 人以上の感染者が出るという未曾有の状況を呈した。そのような状況に更にウクライナ戦争、安倍元総理の事件と、私たちを取り巻く状況がまさに世紀末と言わざるを得ない状況になってきています。

皆さんもマスクの常時着用、アルコール消毒とあらゆる防備をされていると思いますが、気持ちの方の防備はどうでしょうか。“人間は感情豊かな生き物”と言われていますが、苦しい状況に追い込まれると弱い動物でもあるのです。今までの歴史を振り返ってみると、社会状況が悪くなると反社会的行動に走るという傾向がみられます。悪い状況に追い込まれた時、自分一人ひとり、どのような気持ちを持って行動すべきか、これからの一人ひとりの課題と思います。



すみれ工房の就労移行支援は定員6名ですが、皆さんそれぞれのペースで活動しています。7月に2名の方が就職され、今年度は3名の方が就職されています。(7月末現在)

また、ハローワークや東部地域障害者就業・生活支援センターさんと連携させていただき、2名の方が企業実習をされています。

今回はその内のお一人にインタビューさせていただきました♪



Q. 企業実習お疲れさまでした。実習を終えての感想をどうぞ！

初めての事で疲れました。企業実習で企業の雰囲気や、実際に作業させてもらい、どんな所であるか、作業が出来るかどうか、合いそうかなど体験して、自分の目で確認できて良かったです。



Q. 実習をする前はどんな気持ちでしたか？
実習を終えてから気持ちに変化はありましたか？

すごく不安で、何度も支援員に相談しました。企業実習の日が近づいてくると、大丈夫かとか、実際に出来るのであろうかと思う気持ちが強かったです。実際に体験すると、意外に不安は消え、気持ちは楽になりました。



Q. 実習をするにあたって
準備されたことや取り組まれたことはありますか？

実習を行う企業の情報は前もって調べて、整理していました。
すみれ工房での今までの取り組みを生かせるように自分自身でも振り返りを行ないました。



Q. 実習中は大変なことや、難しいことがありましたか？
もしあれば、どのように乗り切ったのが教えてください！

作業は初めての事で、作業中に何回も聞いたり、確認したり、確実に出来るよう心掛けました。作業を企業の人が見られており緊張しましたが、見られているのを気にしないように取り組みました。



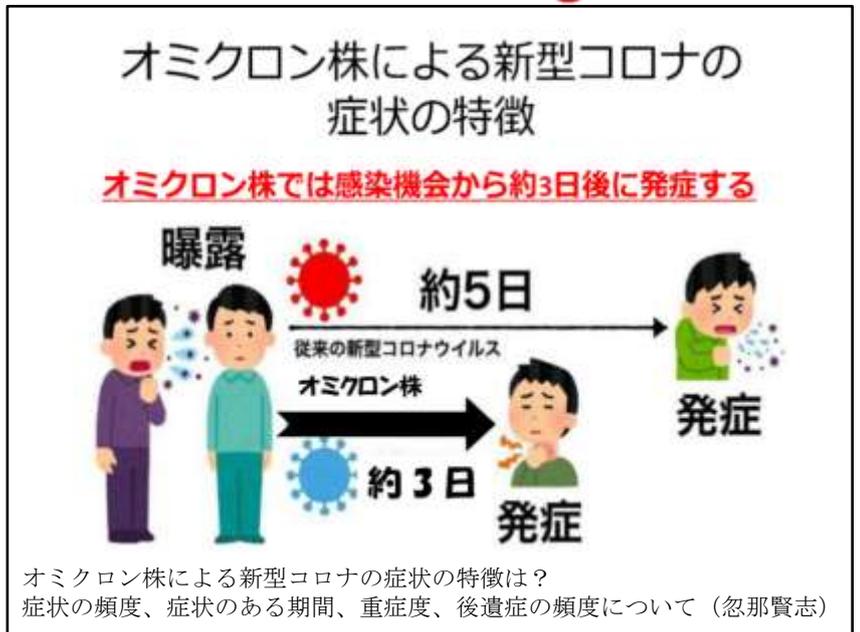
Q. 実習を終えて、今後の活動の抱負や さらに挑戦してみたい！
ということがあれば教えてください。

今回の体験を通じて、企業面接にも取り組みたい。一般企業で働きたい気持ちがある以上、採用していただける企業が見つかるよう、今後もすみれ工房の作業を続けながら、活動も行っていきたいです。

とまり木通信

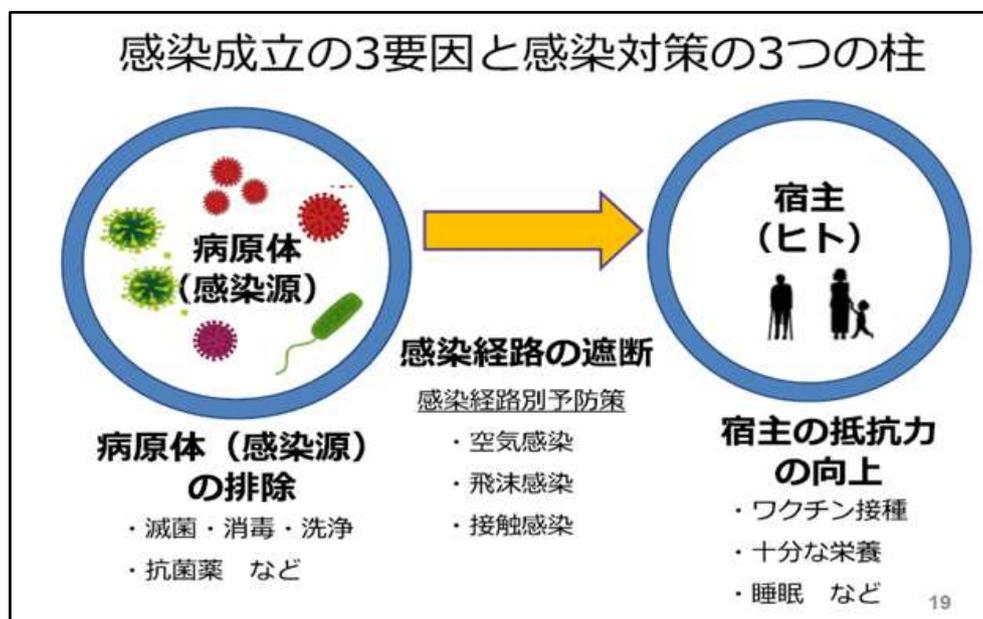
新型コロナ陽性者が全国で20万人という第7波も真っ最中の時期でこの記事を書いています。事業所内でもしっかり防疫体制を維持しながら通所してもらっていますが利用者、職員の身近の人も陽性者となり不安が広がっています。

今回は先日県社協が行った「感染症予防研修」から資料引用させて頂きながら感染症を正しく理解し、少しでも安心できるように情報発信していきます。



オミクロン株による新型コロナの重症度

オミクロン株では症状のある期間が短く、重症化しにくい



新型コロナ感染症は、正しく理解し、正しく対策をとっていれば決して恐れる病気ではありません。

基本的には「マスク」「手洗い」「消毒」です。むやみに不安にならないように、みんなで頑張っていきましょう。（施設長 長谷川）

社会福祉法人 まどか 令和3年度 事業報告

(令和4年3月末現在)

○実施行事 BBQ (10月)、クリスマス会 (12月)、防災避難訓練 (9月) ※ 各種季節行事については、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から自粛。	
○その他 福山市医師会看護専門学校 第一看護学科 臨地実習 受入	
障害福祉サービス事業 (すみれ工房)	
就労移行支援事業 (定員: 6名)	就労継続支援 (B型) 事業 (定員: 14名)
○利用者の状況 利用契約者数: 5名 (男性2名、女性3名) 平均年齢: 40.00歳、一日平均利用者数: 2.64人 就労者数: 5名 ○職員の状況 管理者1名 (兼務) サービス管理責任者1名 (兼務) 就労支援員 常勤1名 職業指導員 常勤1名、生活支援員 非常勤1名	○利用者の状況 利用契約者数: 30名 (男性25名、女性5名) 平均年齢: 42.63歳、一日平均利用者数: 14.71人 年間平均月額工賃: 12,578.3円 (時給換算 273.7円) ○職員の状況 管理者1名 (兼務) サービス管理責任者1名 (兼務) 職業指導員 常勤2名、生活支援員 常勤1名 目標工賃達成指導員 非常勤2名
地域活動支援センター事業 (とまり木)	
○利用者の状況 利用契約者数: 47名 (男性29名、女性18名) 一日平均利用者数: 12.28人 ○職員の状況 施設長 常勤1名 生活支援員 非常勤2名	○実施プログラム ミーティング (毎月1回) スポーツレクリエーション (感染状況により自粛あり) ウクレレ教室 (不定期開催) ※ 調理実習および各種季節行事については、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から自粛。

社会福祉法人 まどか 令和3年度 決算報告

(令和4年3月末現在 単位: 円)

貸借対照表

科目名	合計
資産の部	
流動資産	31,606,633
固定資産	55,433,400
資産の部合計	87,040,033
負債の部	
流動負債	4,328,663
固定負債	12,062,000
負債の部合計	16,390,663
純資産の部合計	
基本金	3,424,478
国庫補助金等特別積立金	18,320,256
次期繰越活動収支差額	48,904,636
純資産の部合計	70,649,370
負債及び純資産の部合計	87,040,033

資金収支計算書

科目名	合計
事業活動による収支	
事業活動収入(1)	46,742,227
事業活動支出(2)	44,683,481
事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	2,058,746
施設整備等による収支	
施設整備等収入(4)	31,536,000
施設整備等支出(5)	36,134,500
施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)	△ 4,598,500
その他の活動による収支	
その他の活動収入(7)	0
その他の活動支出(8)	228,252
その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	-228,252
予備費支出(10)	0
当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)	△ 2,768,006
前期末支払資金残高 (12)	30,983,976
当期末支払資金残高(11)+(12)	28,215,970

事業活動計算書

科目名	合計
サービス活動増減の部	
サービス活動収益(1)	44,816,681
サービス活動費用(2)	45,296,072
サービス活動増減差額(3)=(1)-(2)	△ 479,391
サービス活動外増減の部	
サービス活動外収益(4)	1,925,546
サービス活動外費用(5)	0
サービス活動外増減差額(6)=(4)-(5)	1,925,546
経常増減差額(7)=(3)+(6)	1,446,155
特別増減の部	
特別収益(8)	18,536,000
特別費用(9)	18,536,000
特別増減差額(10)=(8)-(9)	0
当期活動増減差額(11)=(7)+(10)	1,446,155
繰越活動増減差額の部	
前期繰越活動増減差額(12)	47,458,481
当期末繰越活動増減差額(13)=(11)+(12)	48,904,636
基本金取崩額(14)	0
その他の積立金取崩額(15)	0
その他の積立金積立額(16)	0
次期繰越活動増減差額(17)=(13)+(14)+(15)-(16)	48,904,636

北村環会長体調不良に伴う現況報告と
今後の家族会（バラ会）の運営について

福山市精神保健福祉家族会（バラ会）
副会長 秋元美穂
杉野滋美
岡田幸夫

経験したことのない猛暑、コロナ禍と決して心地良い季節ではありませんが、
会員の皆様におかれましては、ご健勝のことと思われます。

このたびは、皆様に北村会長の体調について現況報告させていただきます。

去る、6月23日不調を訴えられ、即大田病院に入院されました。

その後7月12日に福山リハビリテーションに転院され、車いすにてリハビリに励んでおられる様です。数か月の療養が必要との事です。

会長不在に伴い、会議への欠席、会長さんからの情報発信がままならず、会員の皆様にはご不便、不都合をおかけいたしますが、何卒ご理解とご協力いただきたくお願い申し上げます。

会長不在のもと、7月30日（土）定例会を開催、役員一同で今後のことについて協議し、対処していきたいと思っております。

昨今の医療の進歩は著しいものがあり、必ず元気に復帰されることを心から願っています。

尚、平常通り、第4土曜日13:30～ すこやかセンター3階 団体活動室にて定例会を開く予定ですので、当事者さんの相談、行政への要望など、会員相互で話し合い、よりよい生活ができるようご参加お待ちしております。

新しい家族会（バラ会）事務所が「まどか（とまり木）」内にできました。

住所 〒720-0032 広島県福山市三吉町南一丁目13番26号

TEL 084-925-5255

追伸 当分は会長不在のため、連絡が取れないと思いますが
総会資料記載の役員にご連絡下さい。

2022年（令和4年）7月末日

～「善意」のお知らせ～

今期も「法人まどか」および「すみれ工房・とまり木」、そして「福山市精神保健福祉家族会（バラ会）」に多くの皆様よりご厚志・物品提供および作業支援をいただき、誠にありがとうございました。（順不同・敬称略）

また、「地域活動支援センター とまり木」の掃除機購入に際し、生活協同組合ひろしま様より頂戴した「活動支援助成金」を充てさせていただきました。詳細は次号に掲載予定です。

☆ 法人まどかへの善意

・岡田美枝・植山雅子・高橋恵子・秋元美穂・生活協同組合ひろしま「活動支援助成金」

☆ 法人まどかへのボランティア

・國貞将志・村田紀美子・精神保健福祉ボランティアグループ「そよかぜ」

☆ 福山市精神障害者家族会（バラ会）への善意

※ 匿名でのご寄附も頂いております。ご厚情につきましては記録に万全を期しておりますが、脱漏がございましたら失礼の段、ご容赦いただきますようお願いいたします。

仕事を探しています

こんな仕事は頼める？
どこまでやってもらえるの？
まずは、ご連絡ください！

見学・体験利用

どんな場所か見てみたい…
どんな事をしているの？
気軽にお問い合わせください！

ボランティア

何かできないかな？
一緒に手伝いたい…
ご連絡をお待ちしています♪

今後の予定（令和4年8月以降、令和4年10月まで）

各種行事については、市内の感染状況等を踏まえ
感染対策を十分に行う中での実施をしていきます。

編集後記

6月、7月と暑い日が続きます。マスク着用による感染症対策と外作業時の利用者の熱中症対策の為マスクを外すという相反する対策を当事者、環境などを考慮しながらの支援が続き、スタッフは心労がかさんでいると思います。支援者のモチベーションを保つ力添えは「いつもありがとう」といつてくれる利用者の方々の方々の言葉です。スタッフ、利用者の関係ではなく、ふれあいが我々の心の支え、感謝です。（地域活動支援センターとまり木 施設長 長谷川 徹）

Facebook



HomePage

